

兼山地区センターだより

兼山地区 令和5年7月1日現在 世帯数 539 世帯 人口 1129人

令和5年8月1日 NO.65号

Tel.59-2116 Fax.59-2404

Email:kane-koumin@city.kani.lg.jp



暑中お見舞い申し上げます。今月の19日(土)は、「兼山夏まつり」です。竹あかりと行灯のライトアップ、縁日、ゲームなど、どなたでも楽しんでいただけるお祭りです。竹あかりは講座参加者の作品、行灯は兼山小学校児童の絵、有志の方の絵を飾りますので、ぜひ地区センターに遊びに来てください。詳細は、別途配布しましたチラシをご覧ください。

令和5年度 第6回
兼山地区センターまつり
10月29日(日)
9時30分 開会式
雨天決行



地区センターまつりで、日頃の活動や、学習の成果を発表しませんか?
飲食出店、個人の趣味の展示も申込できます。
●内容 展示・ステージ発表・イベント・バザー(飲食可)
●募集期間 8月1日(火)～8月31日(木)
●提出先 兼山地区センター(申込用紙は地区センターにあります)

地区センターまつり参加者募集
地域のおまつりです!
参加して一緒に盛り上げましょう!



【参加条件】 ※ 参加する団体の代表者、個人の方は、実行委員となりますので、会議に出席をしていただきます。

展示・ステージ発表

- ・兼山地区センター、観光交流館、やすらぎ館で活動をしているサークル、団体、個人
- ・兼山地域団体、個人の趣味(展示のみ)で参加したい方

イベント・バザー・飲食

- ・兼山地域団体、地域住民(個人)
- ・物販については、安価なもの
- ・飲食(飲酒、生もの不可)は加工された物の販売のみとなります。詳しくはお問い合わせください。
- ・バザー・飲食販売は、出店料1,000円が必要です。(個人で出店される方)

お問い合わせ 兼山地区センター TEL 59-2116

まだ間に合う！ 8月の地区センター講座 参加者募集



<申込方法> 二次元バーコード、
または電話でお申し込みください。
兼山地区センター TEL 59-2116

親子で楽しく手作りできる

イマケン先生の科学のおもちゃ工作

8月19日(土) 10:00~11:30

場所 ふれあいホール

定員 30名 小学3年生以下は保護者同伴

参加費 300円 申込締切 8月18日(金)

講師 今井 健治さん

持ち物 ハサミ、筆記用具、工作持ち帰り用袋

<科学のおもちゃ2個>

1. 紙皿回し
 2. スティックバルーンロケット
- 作ったら、おもちゃで遊びます。

イマケン先生

岐阜北高校教師、岐阜県サイエンスワールド認定講師です。

子供から大人まで楽しめる夜の講座

夏の星空散策 上弦の月 X を探せ！

8月23日(水) 19:00~21:00

今夜の星空の話と天体観測

場所 1階会議室、ふれあい広場

定員 20名 子どもから大人まで
中学生以下は保護者同伴

講師 安藤浩治さん / 小林亨さん

申込締切 8月22日(火)

雨天の場合は部屋で講話となります。



今月のロビー展

会期 8月1日(火)~8月21日(月)

展示提供者 焼きペン木画教室

今月のまちかど運動教室

10日(木)・24日(木)

11:00開始 和室

熱中症対策をしてお越しください。

ポイ活 8月号のお題 なぜ解きクイズ 応募締め切り 8月25日(金)

1. ひらがなと4つの単語があらわしている単語は？

かくわて 9月 手形 和菓子 科学 答え _____

応募券

2. A、B、C、Dの答えは？ ヒント 数字のある身近なものを見てみましょう。

1+5=6 3+9=12 5+13=6 3+10=A 1-6=B 5-8=C 12+6=D

答え A B C D _____



住所 兼山 _____ 氏名 _____ 電話番号 _____

わが町散歩 ～兼山を訪ねて～ その 5

兼山（金山）湊跡



<引用 Wikipedia 他>

概要

湊跡は、岐阜県指定史跡に指定されています。かつて湊には多くの舟が往来し、室町時代には木曾川上流の始発湊で、戦国時代には金山城主森氏の政治的、軍事的な要衝ともなっていました。河運を利用し商圈を信州や伊勢方面にまで広げ、兼山商人の名を轟かせていました。兼山周辺は蚕糸業を主産業としており、そこから呉服産業や、兼山の立地が天然氷の製造に適していたので、氷も卸していました。江戸時代に入っても重要な木曾川上流最終荷揚げ湊の役割を果たしていました。

城下町兼山の繁栄をもたらした兼山湊

室町時代末期、斎藤正義が烏峰城を築いた時代（1537）には既に河川交通運搬があったとされています。築城に伴い、下流の笠松や犬山から舟で物資を運び、上流最終の荷揚げ湊とされていました。兼山湊船問屋由緒記によると永禄 11 年（1568）に織田信

長が京都に入る際に、多数の建築資材を木曾谷から中山道を運び、兼山湊から船積みした記録があります。永禄 8 年（1565）森氏の入城後、二代目城主森長可により経済基盤を固めるため、金山城を中心とした城下町造り（今で言う都市整備）を行いました。城下町にあらゆる商品を扱う商店街を整備し、月 6 回の市場「六斎市」を開催させ、上流や下流からの物資を湊に集積させました。特に下流から運ばれる塩と海魚は、魚屋町に専売権を与え、城下町発展に大きな影響をおよぼしました。こうした政策により、森家の財政を支え、金山城の増改築にも大きく寄与したと考えられ、以後の兼山繁栄の基礎を築きました。

時代の移り変わりと湊

江戸時代末期になると交通の便に恵まれていた下流域の新村湊（伏見宿）、野市場湊（今渡）の利用が増加していき、権益を巡り激しい抗争が続けられました。塩の専売権や市の賑わいも黒瀬湊、錦織

湊（八百津町）へと次第に移っていき、兼山湊は徐々に衰退していきました。大正時代から昭和時代初頭にかけてダム建設、鉄道、橋などの陸運整備により湊の賑わいは消えていきました。そして昭和 30 年代には木曾川中流域が国定公園となり、兼山の観光事業として、湊から兼山ダム下までの兼山瀨峡流域の川岸の環境を整備し、兼山湊は貸しボートの湊となり多くの観光客を迎えた時代もありました。また、夏は子ども達が水泳をしたり、川釣りを楽しむ姿も見受けられました。今は、川面から石畳と舟に湊の位置を知らせる常夜灯が昔の繁栄を偲ばせています。

水神神社

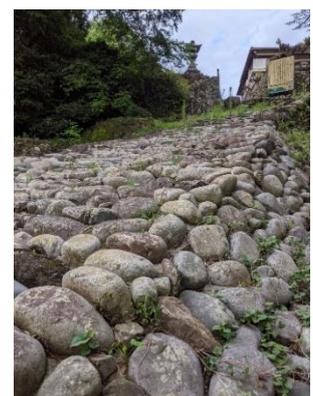
湊のすぐそばには水運の安全を祈願して水神神社が、隣接する春吉稻荷神社とともに祀られており、今でも下町の人達が毎年夏祭りをされています。



観光船と常夜灯

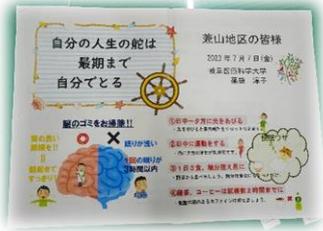


ボートと釣り遊び



石畳 岐阜県重要文化財

7月 講座の様子



参加者 15名

7月7日(金)
 「おひとり様講座 明日の私のために今日できること」
 講師 岐阜科学医療大学
 医学博士 薬袋淳子先生
 年齢による身体の変化や安心して生活するためのコツなどの話を聞きました。グループワークでは、心配なことや、困っていることなどを話し合い、有意義な時間となりました。



5月14日(日)に植えた、花いっぱい運動の花が綺麗に咲きました

秋葉台自治会

7月19日(水)

歴史講座
 「どうするナガヨシ!」
 鬼武蔵と恐れられた
 「森長可」の戦国時代の戦いと、遺言書から読み取る長可の想いなど興味深い講話を聞きました。



参加者 60名



講師 可児市役所
 歴史資産課 松田篤さん

山梨句会 七月の兼題 夏休み・香水・噴水・自由

噴水に約束の顔集まれり	金子 北陽
人の世に蟻にも地獄ありにけり	川合 淳子
夏休み到着時刻知らせ来る	島田 紗代子
夏休み河童橋より穂高岳	廣瀬 信子
梅雨晴れ間車椅子ごと観覧車	今枝 洋子
どっさりと宿題かかへ夏休み	今泉 和子
はり 玻璃越しの吸盤いとし守宮の子	纈纈 町子
夏座蒲団座れば経の始まりぬ	佐藤 笑子
みみたぶ 耳朵に少し香水街に出る	奥村 公子

ふれあいホール開放します
 利用期間 8月1日から8月31日まで
 (月・土祝日除く)
 使用時間 午前9時から午後4時半まで
 事務所受付をしてから使用してください。
 部屋の貸使用がある場合は、使用できませんので、お問い合わせください。



地区センターのお手伝いさん募集!

・行灯の絵を貼る作業
 空いた時間に地区センターに来て頂き作業をします。
 みなさんのご協力をお願いします。
 詳しくは地区センターへお問合せください。
 TEL 59-2116



地区センターのゴーヤが実りました。ほしい方は地区センターまでお越しください。



ポイ活あと2回です
 頑張って応募してね。